

告知実施日・場所	2011年8月 毎年遊ぶ地元の海岸
当時の子供の年齢	5歳8ヶ月
家族構成	養父、養母、次男、御祖父、御祖母
告知した人	養母

皆様、こんにちは。

0期生の四つ葉のクローバーと申します。

息子はトーマスです。小学2年生です。

この様な沢山の方の前で話す事は初めてですので、緊張で上手く話せないかもしれませんが、宜しくお願いします。

我が家の話から、トーマスとの出会い、そして告知、今思う事をお話しさせていただきたいと思います。

私達夫婦は結婚して4年目に妊娠し、喜びましたが、残念な事に初期流産でした。その後、直ぐに妊娠し無事に長男を授かりました。

長男は生まれつきの先天性の心臓病で、生まれて直ぐの手術から始まり、その後、何度かの手術で私達夫婦は何万回何千回と祈り続ける手術の時間を経験しました。

長男は日常生活には制限は無かったですが、心臓病でしたので体も細く小さく、運動系は苦手でした、でも年少で本を読む事が出来てカタカナも教える事なく不思議と覚え、漢字も覚えたいと言うくらいに天才肌の賢くて手の掛からない、サラサラヘアの本当に可愛い不思議な我が家の長男でした。

保育園へ通い、楽しむ姿、日々の成長を嬉しく思い、根治手術を目標に暮らしておりました。しかし根治手術をやりたくはなかったのかの様に、もうすぐという時に、長男は突然天国へと旅立ちました、4歳10カ月でした。

子供を亡くし、私達夫婦は言葉ではとても言い表せない位の、辛く寂しく本当に苦しい日々、なんで私達ばかりと途方に暮れました。何をすることもどこへ行くにも、長男の思い出があり、1日中思う毎日を過ごしました。

長男は短い人生でしたが、私達に、沢山の事を教えてくれました、この子の為にと一生懸命だった毎日、時間、命のはかなさ、たくさん勉強させてもらったと思うようになり、思い出を振り返ると、心から感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして長男の為にも、前向きに生きなくてはと、夫婦で今度の事を話し、やっぱり子供との生活がしたい、弟か妹が欲しい気持ちで、産婦人科へ5年間通いましたが、残念ながら妊娠に至りませんでした。

不妊治療は諦めましたが、子供が欲しい、育てたい、子供の為に一生懸命に生きていと願う気持ちは変わらずに諦めきれない自分が居ました、そして里親、養子などを考え、パソコンで検索し前会のホームページにたどり着きました。隅から隅まで読んで、もうここしかない、ここをお願いしたい！と、強く思い、私の心は決めました。

主人と話し合い、思いや気持ちが一緒だと確認し、わらをもすがる思いで平成20年1月メールを送りました。

2月に申し込みをし、3月にマザーさん宅にて面接を行ってもらいました。

今から8年前の事です。私達はすべての思いを伝え、マザーさんからは色々なお話しをお伺いし、Baby救済の活動への思い、子供への深い愛情が伝わり、益々マザーさんの活動に協賛し、帰りの車では、もし駄目でもマザーさんへの何かしらの協力したい気持ちの私達が居ました。凄い方だね、と感動し何だかマザーさんからパワーをもらい、とても心地良い、すがすがしい気持ちで帰って来ました。これで駄目なら諦めも付くと、とにかく1年マザーさんを信じて待とう。と夫婦で待ちました。

前会では今の様に待機通知はありません！連絡は一切来ません、自分が待機になっているのか？落ちたのか？それさえも、分かりません。

そして何人の方が、待機として待っているのかさえも、わからない状態です。

ただひたすら、ホームページを毎日見て、黙ってマザーさんからの連絡を待つのみでした。

面接後、9カ月たちマザーさんからの嬉しい電話がついに来ました。

マザーさんからのまず初の言葉、「お兄ちゃんの事はもう大丈夫？」でした。

お兄ちゃんはお兄ちゃん！はい大丈夫です！と答えました。

姿、形は無いけれど、長男と一緒に子供を楽しみに待つことが出来た大事な9ヶ月でした。

マザーさんが言ってくれたことで、再確認し気持ちも引き締め、子供を迎い入れる心・準備が出来ました。

平成20年11月26日生まれの 生後18日目の、トーマスがやって来ました。

養子縁組については、近い親戚、友人、仕事関係の方にはちゃんとお話ししましたが、来た時はアパートに住んでおり、挨拶程度のお付き合いでしたので、特に話はしませんでした。今は主人の実家ですので近所の方は知って居られる方は多いと思いますが、自ら話す事は無かったです。

今まで、聞かれた事や、何か言われたことは1度もありません。

隠すと言うことでは全くなく、話さす必要が来た時や、知っていて欲しい方にはその都度話していこうと夫婦で話し合っ決めました。

トーマスの性格や行動から自ら自分の事を話すと言う子ではないので、その方がと考えました。

実母様とは、実母様の生活もありますので、アルバムを渡す事やプレゼントなどは一切無く過ごしております。いつの日かトーマスが渡せるようにと、アルバムは製作しております。

子供と過ごす幸せな時間に感謝し、いつの日か告知をと頭の隅に置きつつ過ごして来ました。

夫婦で告知について話し合う中で、トーマスの性格や行動・気持ちの成長の様子などを考えて、どのタイミングでどの様に、この子にとっては1番良さそうか？と考えました。落ち着いてちゃんと話が聞けて、話を理解できる様になった頃に始めた方が、我が子には良いのでは、と夫婦で始めたい時期を決めました。その後、様子を見ながら過ごしました。

幼稚園へ行くようになり、団体行動での生活の中で、色々と学んで、心と体も成長し、ちゃんと聞ける事、理解し行動でき、自分の思いも言えるようになり、嬉しい成長を見ながら、告知のタイミングを計っていました。毎日バタバタと過ごす中、そろそろだね、と夫婦で話し合い計画を立てました。

告知を行ったのは幼稚園の年長、なるべく告知後にトーマスの様子や変化・心のケアが出来る様にと考えて、長い夏休み中が良いと決めました。トーマス5歳8か月の事です。

8月のお盆明け私がしました。告知当日、午前中はトーマスと初めてご対面した思い出の場所へ行き、駅で新幹線を見て、トーマスのお気に入りのレストランでランチをしました。

午後からは、告知場所と決めた、毎年行く大好きな地元の海へ。

まずは少し遊んで、その日の朝に「今日は海に行ったらとっても大事な話があったんだ！」と伝えておきました。落ち着いて話せるのを待ちました、トーマスに「朝言ってた大事な話をしても良いですか？」トーマスはアイスを食べながら、「うん、いいよ～、なにになに？」と興味津々でした。

「お兄ちゃんの事は分かるよね？お兄ちゃんは病気で死んじゃったんだよね～、パパとママは悲しくてさびしくてとっても辛かったんだ。少しして、お兄ちゃんの弟か妹が欲しくなって、赤ちゃんできるように頑張ろうってパパとママは思ったの！」

でもなかなか出来なくてね、お医者さんへ行ったけれどママのお腹は赤ちゃんできなくてさ、それでも、どうしても子供が欲しくて、一緒に暮らしたくて、たくさん遊びたくて、それでマザーさんをお願いしたの。

マザーさんにメールして、会いに行って、宜しく願います。って・・・」

そして待ってたら、マザーさんから電話が来て「トーマスくん産まれたよ～」ってパパとママは「やったー」って！「トーマスに会える、って、とってもとっても嬉しかったよ」「今日朝行った駅に、むうお姉ちゃんとマザーさんが、大事に大事に赤ちゃんのトーマスを抱っこして新幹線に乗って、ママとパパの所へトーマスは来てくれたんだよ」「ふ

～ん」「ママは残念ながらトーマスを産めなかったけれど、頑張って、頑張ってトーマスを産んでくれたママがトーマスには居るんだよ」{へ～そうなんだ～}と意外と冷静でした。

「トーマスを産んでくれたママは、きっとトーマスが元気に楽しく過ごしてくれていたなら良いな～って思っていると思うよ！いつの日か、トーマスが大きくなって、会いたい時が来たら、会えるといいね！そして産んでくれてありがとう、って言えるといいね！」「うん」と少し砂で遊びながら答えました。

マザーさんには毎年何度かお会いしますので、マザーさんのお仕事の話をしました。「いつも遊んでいる〇〇ちゃん、〇〇くん、そして山形や秋田のお友達居るでしょう。み～んなマザーさんが、ママとパパの所へ「幸せになってね」って連れて来てくれたの、トーマスと一緒にだよ～！毎年マザーさんに会いに茨城県に行くでしょう。その時お兄ちゃん、お姉ちゃん、沢山の子供や赤ちゃん居たでしょう、そのお友達皆、そうだよ、仲間だよ～！マザーさんのお仕事って、凄いよね！

だから皆、マザーさんや産んでくれたもう一人のママに「ありがとう」って、感謝なんだよ「うん、今度会ったらマザーさんに言えるかな？」「でも、恥ずかしいな～」とすこし照れながら言っていました。

その日の夜に、「今日の大事な話、分かった？」と聞くと、「マザーさんから僕は生まれたの？」・・・と・・・「あれ～？そっか、たくさん話過ぎたよね～」と反省しました！

「うまれてきてくれて ありがとう」の本を読み、産んでくれたお母さんがいる事、もう1度教え、「もし産んでくれたママの事、知りたいならマザーさんは会って話したことがあるから、今度会った時に聞いてもいいんだよ」と言ったら、「うん」とニコニコ答えてくれました。数日して、「ぼくを産んでくれた人は、何県？」と質問が来ました。「産んでくれたママは、日本一高い山、富士山がある所、静岡県って言う所に居るんだよ～」と教えたら「うーん、そうなんだー」と、やっぱり気にはなっているんだなあ～とおもいました。でも、理解し質問してくれたことが嬉しかったです。その後は、聞くことも無く、態度も全く変わりなく過ごしていました。

告知後初めてマザーさんに会う機会があった時に、「トーマスに言ったでしょう。」と言われビックリしました、「何か言いたげな、いつものトーマスと違かったから、直ぐにわかったよ！」と言われ、もしかしたら何か聞きたい事でもあるのかな？それとも「ありがとう」と言おうとチャンスを見ていたのかな？と思いました。

今後、トーマスが質問など訪ねて行った際には、どうぞ宜しくお願いします。

新潟に該当が出た時に、「赤ちゃん来るよ」と言うと、「えっ、また生んだの？マザーさん？」凄いいね～」と冗談曲がりに言ってくるようになりました。マザーさんは、トーマスにとっ

ては偉大な方になっております。

告知は始まったばかり、まだまだこれからです。今は大事な心を育てて、家族の絆を大事にと思っています。

子供が出来なくて、悩んでいた私達ですが、今は子供の事で次から次へと悩める事、本当に幸せな事ですね。

これから、思春期、反抗期など訪れる時に、しっかりと寄り添って受け止められるように、しっかりと心のケアが出来るようにと、今の時間を大事に過ごしております。正直不安もありますが、同じ環境の心強い頼れる先輩方や信頼できる親友にも恵まれました、相談できる会の環境、素敵な出会いに感謝しております、何かあった時には、相談させてください、宜しくお願いいたします。

今回、話をさせて頂くにあたって、私にとっても色々な事を振り返る大事な時間を持つことができました。ありがとうございました。

皆さん、それぞれ色々な辛い経験を乗り越えて、「子供が欲しい、子供を育てたい、子供と幸せになりたい」と希望を胸に同じ思いでこちらの **Baby** ぽけっとへたどり着きました。実母様の色々な環境の中、おなかの中で育ち無事に生まれてくる事が出来た奇跡の命、そしてマザーさんを通じて私達はその大事な命を授かり、父と母にさせて頂いたのも大きな奇跡だと思います。

この会から素敵な御縁や宝物を沢山いただいております。

マザーさん、事務局様、皆様のお陰です。

本当にありがとうございます。

トーマスには「生まれて良かった、生んでくれてありがとう」と感じて、実母様に伝えられる日が来てくれるといいなあ〜と願っております。

主人・私・長男・次男の 4枚の葉が絆で結ばれている「四つ葉のクローバー」でした。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。